



学校長あいさつ

ようこそ、鏡が丘特別支援学校ホームページへ。

令和4年度より校長として赴任いたしました、上運天と言います。

コロナウイルス感染症関連も大分落ち着き、学校では以前の活気が戻りつつあります。しかし、本校は医療的ケアを行うハイリスク施設として、他の感染症も含めて気の緩めない日々がまだまだ続いております。これまでも本校児童生徒職員ともに、罹患するものは出てきましたが、クラスターや重症化することなく過ごせたことに、職員及び保護者の皆様に感謝いたします。

さて、本校は、昭和40年4月に本県ではじめての肢体不自由養護学校として浦添市大平鏡原に開校し、今年度で59年目を迎えます。昭和57年には現在の浦添市当山に移転し、校門より緩やかな坂を上りますと左側に大きな石碑があります。これは現在地への移転と同時に建てられた石碑で「すこやか」の文字が「子供たちが皆 健やかに成長して欲しい」という願いを込めて刻まれております。そして、その想いは学校の歴史と共に、子供たちの日々の学校生活の様子を綴った文集「すこやか」に記され、引き継がれています。どうぞ、来校の機会には、先人達の想に寄り添いながら、ご覧になって頂きたいと思っております。

今年度は、107名の児童生徒が在籍し、会計年度職員を含め約150名の全職員一丸となって個性豊かで明るく、たくましく、ねばり強く生きようとする子供たちの「生きる力」を育むため取り組みます。学校のキャッチフレーズは『このころの底から湧き出る笑顔のために、一人一人の自立と社会参加を目指す』と掲げています。これからも、本校ホームページを通して、子供たちの健やかな成長を見守り、応援していただけると光栄です。今後とも本校の教育に一層のご理解とご支援をくださいますようお願い申し上げます。



令和6年4月

校長 上運天 滋